

平塚における地下水汚染の現状及び対策について

1. これまでの経緯

3月22日 井戸1カ所からジフェニルアルシン酸 0.001mg/l (ヒ素換算) を検出。

〔3月22日以降、汚染が存在するおそれのある範囲(約3km四方)において、井戸水の飲用中止を要請。同範囲に存在する飲用井戸198本から井戸水を採水して分析。〕

4月23日 198検体のうち195検体については有機ヒ素は検出されず。残り3検体については、ジフェニルアルシン酸は含まれていないものの、他の有機ヒ素化合物(モノフェニルアルソン酸の可能性あり)が含まれており、確認分析を実施。汚染範囲の絞り込みのため、追加的な井戸水調査範囲を設定。

〔4月23日以降、追加的な井戸水調査範囲内に存在する全ての井戸(飲用以外)18本から井戸水を採水して分析。〕

2. 明らかになった分析結果

1) 4月23日に確認分析を行うこととされていた3検体

モノフェニルアルソン酸ではないことが確定。物質の同定作業を引き続き実施中。3検体の総ヒ素濃度は0.003～0.032mg/l(参考:総ヒ素の環境基準値は0.01mg/l)。

2) 4月23日以降追加分析した18検体

18検体のうち17検体について分析結果が判明(1検体は分析中)。13検体については有機ヒ素は検出されず。残り4検体はジフェニルアルシン酸は含まれていないものの、他の有機ヒ素化合物(モノフェニルアルソン酸かどうか不明)が含まれており、物質の同定作業を引き続き実施。4検体の総ヒ素濃度は0.0266～0.291mg/l。

3. これまでの対応

今後調査を行う必要がある範囲として「要調査地域」を設定した。

要調査地域内では、改めて神奈川県及び平塚市により、井戸水の飲用を中止するように井戸の所有者に要請した(別紙参照)。

4. 今後の対策(案)

要調査範囲内の地盤改変の履歴や地質資料等の既存の知見を集積・整理するとともに、調査範囲内の井戸について、井戸水分析、地下水位、流向、流速等を引き続き測定し、地下水汚染の現況解析を行う。

危険物発見箇所周辺環境調査について

<平成16年7月5日>

発行・編集 環境省環境保健部環境リスク評価室、
神奈川県防災局災害対策課、神奈川県平塚保健福祉事務所、
平塚市防災安全部防災課

環境省では、平成16年3月22日に旧相模海軍工廠化学実験部跡地の周辺の1井戸の井戸水から微量のジフェニルアルシン酸が検出されたことを受けて、神奈川県及び平塚市の協力を得て、周辺に存在する井戸216カ所(198カ所+追加18カ所)の井戸水の調査を進めてまいりました。

その結果、新たに化学実験部跡地付近の7カ所(3カ所+追加4カ所)(別紙斜線部の中)の井戸水から、ジフェニルアルシン酸は検出されなかったものの、何らかの有機ヒ素化合物* (詳細は分析中) が検出されました。汚染原因は現時点では不明です。

この結果をもとに、専門家の意見を踏まえて、今後、調査を行う必要がある範囲として、新たに「要調査地域」(別紙参照)を設定しました。

要調査地域では、引き続き調査を継続していきます。

井戸水の飲用に関しては、直ちに健康影響がでるおそれは低いと考えられますが、要調査地域の内側については、井戸水調査で有機ヒ素化合物が検出されなかった井戸も含めて、念のため、改めて井戸水の飲用を中止するようお願い致します。

なお、要調査地域の外については、ジフェニルアルシン酸等による地下水汚染はないと考えられます。

※何らかの有機ヒ素化合物：ジフェニルアルシン酸でないが、関連化合物である可能性のある物質

その他、ご質問・ご相談は、下記窓口にご連絡ください。

環境省環境保健部環境リスク評価室	03-3581-3351
神奈川県防災局災害対策課	045-210-3513
神奈川県平塚保健福祉事務所	0463-32-0130
平塚市防災安全部防災課	0463-23-1111

要調査地域図

